

## 第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		A (Aチーム)	グループ	施策名										
参加者	行政	相川知久、北川峰子、保母公次 齋藤桂、榊原康広		基本目標	1	地域で育むひとづくり								
	町民	那須直美、滝本孝治、大岩徹		基本施策	1-6	豊かな自然を活かしたひとづくり								
施策情報														
町民目線からの 見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町行政の中で漁業に比べ農業関連予算が見えてこないため、南知多への移住を促すための農業の取り組みを願う。</li> <li>・南知多町全体に自然に生えている雑草や木々の処理スパンを短くしたほうがよい。子供達や南知多町に住んでいる住民を一番に考え、生い茂って見えにくいなどの危険がないようにして頂きたい。</li> <li>・町が主体的に企画した子育てイベントの広報に努めるべき。</li> <li>・竹整備事業に力を入れてほしい。</li> </ul>													
予算(事業)名	環境保全対策事業費	農業土木一般管理費			保育所一般管理費			その他						
主な予算事業 (実施計画・事業評価)の良い点	環境学習推進事業として自然観察会を開催することで、身近な自然の大切さを考え、生物多様性保全の大切さを学ぶ機会を得ることができた。	農業農村多面的機能支払事業においては、事業実施主体が農業者を中心にその他自治区等のメンバーで構成されているため、農地・農業用施設用地の保全のみならず、地域コミュニティの活性化にも貢献している。			低年齢児保育、早朝・延長保育、園庭解放事業、一時保育を実施するなど、適正な保育サービスの運営に寄与することができた。									
主な予算事業 (実施計画・事業評価)の問題点	緑のカーテンの資材が希望者全員に配布できないなど、環境保全啓発事業の限られた予算の中で広く環境保全啓発ができるよう見直しが必要。南知多町独自の事業が実施できないか？	整備されていない農道などが増えてきている。農地が荒れない環境が作れたらいい。農地を取得できないために、移住をあきらめる人がいるので、何か対応できないか。			保育所の老朽化による修繕料の増加。町の施策として特徴あるものがないので、里山などの自然と関わることでできる事業があるとよい。									
評価結果・グループワーク(意見交換)の意見														
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点	
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	予算からは、町のひとづくりに対しての姿勢が分かりづらい。			(摘要)	現状維持のための予算になっているため、評価が難しい。			(摘要)	協働事業の取り組みが分かりづらい。

## 第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		D (Aチーム)	グループ	施策名										
参加者	行政	土井美香、鈴木誠、吉原裕人 沢田慶、間瀬桂輔		基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり								
	町民	林浩子、大岩徹		基本施策	2-2	豊かな農地と産物を活かした農業								
施策情報														
町民目線からの見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業のやる気のある人に休耕地の活用を提案し、地元の年寄りにも有効に家庭菜園を使わせることを提案します。</li> <li>・ 南知多では農作物は作られているのに、販売する場所がない。こんなバカなことがありますか？町として何とかしてください。</li> <li>・ これまで南知多町田舎暮らし支援センターの活動に参加し、農業の大切さを学んできた。日本の農業や自給率の低下など、今後の生活を考えるうえで町における農業支援の政策が重要。町外からの移住や農業体験を希望する人へのPR活動を強めることが必要だと思う。</li> </ul>													
予算(事業)名	農業振興対策事業費	環境緑化推進事業費			農業土木一般管理費			その他						
主な予算事業 (実施計画・事業評価)の良い点	関係機関と協力し、農業者が機械や施設導入時など補助事業を活用できるよう支援しています。	町内の公共施設等に花の苗を配布し、景観づくりに寄与しています。			農業者を中心に、その他自治区等のメンバーで構成された組織取り組んでいるため、農地・農業用施設の保全のみならず、地域コミュニティの活性化に貢献している。									
主な予算事業 (実施計画・事業評価)の問題点	町外からの移住や農業体験を希望する人へのPR活動については、十分な取組ができていません。農産物の販路確保は課題であり、農産物の取扱を希望される事業者等と連携していきたいと考えております。	生産資材等の高騰などにより、苗の価格が上がっており、配布できる数量が少なくなっています。			活動組織の増加が望ましいが、担い手不在や事務の煩雑化等が原因で活動組織の新規参入が難しくなっています。									
評価結果・グループワーク(意見交換)の意見														
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点	
	ii	<b>一部努力を要するが概ね順調</b>			(摘要)	機械の購入費の補助金増加はありがたいが、新規就農者が継続できる支援を考えてほしい。			(摘要)	産直の整備やブランド化、規格外製品の販路開拓に協力してほしい。			(摘要)	NPOとの事業と協力して、PR等に努めてはどうか。

## 第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		B (Bチーム)	グループ	施策名									
参加者	行政	古見由香、伊藤尊人、堀之内浩子、松本伸弘、片岡克紀		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	松本真里奈、大岩浩美		基本施策	1-3	生涯を通じて取り組む健康づくり							
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民の健康管理をデジタル化して、医療体制を将来にわたり確保すること。運動をしやすい環境を整えることが必要です。</li> <li>・ 離島で緊急患者が出た場合に島外への搬送などが、繁忙期または海上タクシーの船数が減ったぶんスムーズに行くとはこれからは思えません。常駐してもらえるお医者さんがいてくれた方が島民も安心できると思います。</li> <li>・ 美浜町の病院にかかっているが、町内と同じように利用できるのがありがたい。</li> </ul>												
予算(事業)名	後期高齢者保健事業費	健康診査事業費		予防接種事業費			その他						
主な予算事業 (実施計画・事業評価)の良い点	受診できる医療機関を拡大し、かかりつけとしている住民が多い渡辺病院等も受診できるようにしています。	がん検診は厚生病院、渡辺病院でも受診可能です。 歯周病検診は20歳30歳の若い年代へも対象を広げています。		令和5年度までは新型コロナワクチンの臨時接種を実施しました。			乳幼児用のおむつの給付がある点とよいのではないかと。篠島、日間賀島住民の医療の確保のため診療所の維持をしていきます。日間賀島診療所はR5にレセプトコンピュータの更新、マイナンバー対応をしています。						
主な予算事業 (実施計画・事業評価)の問題点	受診希望者のニーズに対応していくとともに、サービスの周知、啓発が必要と思われます。	若い世代に向けて健診、検診事業の啓発が必要です。		新型コロナワクチンはR6から高齢者が定期接種の対象となり、自己負担金が必要です。									
評価結果・グループワーク(意見交換)の意見													
総合評価	合計	5	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)	(摘要)			(摘要)				

## 第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		C (Bチーム)	グループ	施策名									
参加者	行政	石黒欽也、内田健二、山下英将 大崎沙久実、伊藤友規美		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	鈴木ひとみ		基本施策	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ							
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題	<p>○食料品や日用品などは商店が減ったために購入が不便になってます。共同で仕入れに行けるように勧めることもいいと思います。</p> <p>○豊浜の鯛祭りが数年ぶりに復活、その準備に活気が生まれている。その中で年配の経験者と若い人の交流が生まれているように思う。このような文化を継承する取り組みが、世代間で取り組まれることが重要だと思う。</p> <p>○主体的に動くまちづくり協議会には積極的支援を。</p>												
予算(事業)名	自治振興費		まちづくり推進事業費						その他				
主な予算事業(実施計画・事業評価)の良い点	区長代表者会の開催において、概要説明資料を事前送付したり、プロジェクター等を活用したりして、会議をさらに簡潔でわかりやすくしました。		各地区のまちづくり協議会の活動を広報等で随時発信しました。また、コミュニティ助成事業を活用し、2地区に対して備品整備の補助を行いました。										
主な予算事業(実施計画・事業評価)の問題点	各地区との密な連携を継続する必要があります。		町によるまちづくり協議会活動の情報発信で、紹介する団体や地域に偏りがありました。町として、まちづくり協議会の活動や地域の魅力を発信する効果的なイベントは開催できませんでした。										
評価結果・グループワーク(意見交換)の意見													
総合評価	合計	4	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	商工会青年部がやっているイベントのように若い世代の考えも活かしてほしい。		(摘要)	祭りや盆踊りのような地域での交流の場が減っている。		(摘要)	移住者が地域になじむための支援も必要。	

## 第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		E (Cチーム)	グループ	施策名									
参加者	行政	上米良勇太、鈴木喜彦 坂本圭志、奥村卓矢		基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり							
	町民	須賀萌乃、家田倫子 吉戸由美子、松下文弘		基本施策	2-4	何度も訪れたくなる観光・交流							
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光は体験が人気ですから魚料理や船釣り、お土産などを連携するような取り組みが必須。繰り返し訪れるとなると観るだけでは飽きてしまうので体験することの産業をPRすることが重要。</li> <li>観光客が楽しめる、また来たいと思える海岸線作りをしていく方が良い。</li> <li>観光予算増、観光客マナー向上、インバウンド強化、産直販売できる場所・駐車場の確保。</li> <li>師崎観光ターミナルの改修に伴い、観光客の安全確保のための施設設備（休憩・医療・衛生）をお願いする。</li> </ul>												
予算（事業）名	師崎港観光センター 周辺整備運営事業		観光振興事業費		観光施設整備事業費		その他						
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の良い点	師崎港観光センター周辺整備運営事業をPFI方式で実施し、民間活力を活かす。		町観光協会と協力して、観光宣伝等を実施することにより、積極的に観光振興を推進する。		観光施設の適正な維持管理、観光地の美化により観光資源の保全を図る。		離島振興費 ・アイランダーなどPRイベントへ参加することで、離島のPR活動ができる。 ・首都圏においては愛知県又は南知多町の知名度はまだ低い。						
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の問題点	建設時期のシャトルバス運行など整備完了まで観光客の利便性の確保を図る必要がある。		アフターコロナにおける町の観光のあるべき姿を早急に構築する必要がある。また、感染症のリスクから観光客を守るため、施設の安全・安心を高める補助等が必要である。		公衆便所等の観光施設の老朽化が進んでいるが、施設の改修が進んでいない。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	7	点	(内訳)	予算事業	3	点	管理指標	3	点	地域との協働	1	点
		iii	概ね順調		(摘要) 現状の役場の資金の使い方は妥当。限られた予算の中で良くやっている。	(摘要) 地域の要望に対して柔軟に対応してくれている。	(摘要) 協働のPRが町民に上手く伝わっていないところがある。						

## 第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		F (Dチーム)	グループ	施策名									
参加者	行政	百合草文哉、那須大輔、家田直政 井上和貴、石橋暁登		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	田中正信、早稲倉基修		基本施策	3-7	心と体安らぐ自然・住環境							
施策情報													
町民目線からの 見た現状と課題	<p>①環境を守るため、プラスチックごみの選別・清掃に心がけている。</p> <p>②衛生組合の予算を見ると、収集運搬費が相当かかっている（2億以上）。この数年の町におけるゴミ対策は評価できるものであるが、回収費（町民負担）袋代の値上げが物価高に追い打ちをかけている。この負担を抑えることと、企業や大口のごみ排出者（個人事業者）の排出量の削減と応分の負担をお願いしたい。</p> <p>⑥太陽光発電による乱開発の禁止。（条例化済）次は南知多の自然を守る「景観条例」の整備が緊急に必要です。国道・県道の整備、清掃を。（通学路の整備）</p>												
予算（事業）名	環境保全対策事業費		ごみ処理業務費		ごみ減量収集対策事業費			その他					
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の良い点	ソーラーの問題について真摯に取り組んでいる		維持していくことが大事		ごみ減量に結果が出ている								
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の問題点			町の所有物の有効活用 具体的な活動の拠点になるとよい		分別してもごみがなかなか減らない印象がある。 ごみが減量したことなどのアピールに努めること								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	6	点	(内訳)	予算事業	3	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)	環境保全やごみ処理については一概に費用圧縮すべきでないことは理解できる		(摘要)	ごみの減量についてもっと住民にアピールするとよい		(摘要)	ごみ処理にかかる費用大。住民の負担軽減に取り組んでいくこと	

## 第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		G (Dチーム)	グループ	施策名									
参加者	行政	戸田竹彦、宮地利式、相川洋輝 細田茉希、滝本義紀		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	大田卓弘、岩尾哲彌		基本施策	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯							
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯罪が増加していることに対し不安である。</li> <li>・ 田舎だから逆に空き巣に狙われやすい。だから、電柱ごとに付けるくらい(各角くらいでも)の意識で、防犯カメラの設置を進めて欲しい。</li> </ul>												
予算(事業)名	防犯対策費		交通安全推進費					その他					
主な予算事業 (実施計画・事業評価)の良い点	個人や区などが設置する防犯カメラに対する補助金、オレオレ詐欺などへの対策機能付き電話機の購入補助など、ニーズに合った対策を実施している。		地元団体と協力して交通安全キャンペーン等啓発活動を実施。 交通事故発生件数は、半田警察署管内で最も少ない。										
主な予算事業 (実施計画・事業評価)の問題点	防犯については住民自身の防犯意識によるところが大きく、効果的な啓発方法を模索していく必要がある。		交通安全意識の低い人への効果が薄いこともあり、効果的な啓発活動が必要。										
評価結果・グループワーク(意見交換)の意見													
総合評価	合計	6	点	(内訳)	予算事業	3	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)	予算は妥当である。		(摘要)	町としてやれることはやれているが、交通事故件数は横ばい、犯罪件数は増加しているため、一部改善が必要である。子供向けの交通安全教室の開催を検討する。		(摘要)	地域に割り当てられたまちづくり補助金などを活用した防犯対策や地域サポートによる防犯活動、地域掲示板やメールマガジンを利用した広報などを行っていくことが大切である。	

## 第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		W	グループ	施策名								
参加者	行政	奥川広康、坂口増和、山下忠仁		基本施策	4-1		職員の成長とやりがい					
	町民	太田彰、内田美里、宮本邦彦		業務改善 推進事項			挑戦できる組織づくり					
施策情報												
行財政マネジメントにおける現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厳しい財政状況に対応するため、官民連携の活用を推進する必要がある。</li> <li>・ 官民連携・官民共創事業の事例を全庁的に共有し、横断的に創出する仕組みの定着が必要である。</li> <li>・ 「公平な評価」「職員のモチベーション向上」のため引き続き評価制度などを改善していく取組が必要である。</li> <li>・ 研修内容の精査と研修成果の検証を定期的に行い、必要な改善点の把握が必要である。</li> <li>・ 本町が持続していくための施策や事業を企画・実行していくには、人材の確保、成長、意欲、挑戦が必要となり、役場自ら模範となって労働環境を改善し、柔軟な働き方を一層推進していく必要がある。</li> <li>・ 長時間にわたる時間外勤務は生産性・効率性の低下を招き、職員の心身の健康保持やワーク・ライフ・バランスにも悪影響を及ぼすため、時間外勤務の削減に向けた取り組みを行う必要がある。</li> </ul>											
業務改善 推進項目	民間活力の活用の推進	職員の意識改革 と能力の向上			労働環境の整備			その他				
業務改善の取組の 良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間活用を推進することによって、民間の知識、ノウハウを活かすことができる。</li> <li>・ 自治体のコスト縮減、人手不足の解消ならびに地域課題解決につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事評価制度について、公平な評価・職員のモチベーション向上について評価ランクや昇格への反映基準を設定できた。</li> <li>・ 職員研修についても、職務に対する姿勢・互いに学ぶ姿勢など、職員意識の向上による研修内容の充実が図られた。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フレックスタイム制を10月1日から導入したことにより職員の満足度の向上ができた。</li> <li>・ 職員個々の働き方に合わせた時間割が作れ、ワークライフバランスが改善された。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラ団としても官民連携に積極的に関与していきたい。</li> <li>・ 職員の意識調査により改善になれば職員のモチベーションもあがると思う。</li> </ul>				
業務改善の取組の 問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間企業によって営利目的になりサービスの低下や利用料の値上げにならないか。</li> <li>・ 官民連携事業を全庁横断的に取り入れやすく、創出する仕組みづくりが重要</li> <li>・ 官民共創事業を行う場合は、住民の意見や要望を反映できるように十分に説明が重要。</li> </ul>	<p>人事評価制度については、グループ制への移行にあたって見直しや、多面評価に対するニーズも多いため、持続的に制度改善が必要。また、職員研修については、定期的な成果の検証により改善点の把握が必要。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークライフバランスを推進していくためには、休暇を職場風土醸成、上司や同僚職員の理解が必要となる。より多くの職員がフレックスを利用するためには、横断的協力体制の構築ができた組織づくりが求められる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離職防止対策（相談体制があった方がよい）</li> </ul>				
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見												
総合評価	合計	5	(内訳)	予算 事業	2	点	業務 改善	2	点	マネジ メント	1	点
	iii	概ね順調		(摘要)			(摘要)			(摘要)		

## 第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報	X	グループ	施策名		
参加者	行政	石黒俊光、山本 剛、鈴木和芳	基本施策	4-2	業務の高度化、効率化
	町民	山本直径、鈴木甚八、山下かず代	業務改善 推進事項		デジタル化・DXの推進

### 施策情報

<b>行財政マネジメントにおける現状と課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員提案制度の導入により、職員の課題解決能力が向上し業務改善に取り組む意欲に繋がっている。今後も、業務改善に取り組む意欲を高め、提案募集が行われるようにすることが大切である。</li> <li>・財務会計事務の電子決裁の導入を進めるなど、電子化のさらなる推進が必要である。</li> <li>・各課室があいち電子申請システムを活用し、各種申請をWEBで手続きができるよう各課室で取り組んでいる。アンケートでの活用が主であり、今後は、電子申請の対象事務をさらに増やすことと町民への周知を進める必要がある。</li> <li>・全職員タブレット導入など行政情報のデジタル化により、ペーパーレス化の経費削減に努めている。今後も更なるDX推進が必要である。</li> </ul>
---------------------------	---

業務改善 推進項目	政策・調整機能の強化	行政のスリム化・事務の効率化	行政情報のデジタル化	その他
業務改善の取組の 良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業提案制度（みなみちたグッジョブ運動）により、業務改善に取り組む意欲が高まり、組織全体が活性化される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいち電子申請システムを利用することで、アンケート回答で利用数が増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員タブレットの導入により、文書の電子化が進んだ。</li> </ul>	
業務改善の取組の 問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募数を増やすため、業務改善も一つの大切な業務として全職員の意識付けが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・届出等の電子申請が増えなかったため、対象事務を増やす必要がある。住民への周知が足りないことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXを推進し、LINEなどを活用した住民への情報提供ツールを増やすこと。公開型GISシステムの構築、ファイルサーバー内のデータ削除・バックアップ方法の検討が必要である。</li> </ul>	

### 評価結果・グループワーク（意見交換）の意見

総合評価	合計	6	(内訳)	予算 事業	2	点	業務 改善	3	点	マネジ メント	1	点
	iii	計画・目標達成に向けて 「概ね順調」		(概要)			(概要)			(概要)		
	意見：①グッジョブ運動では、提案者個人の方への評価、モチベーション、テンションが上がる方式をよく考えてください。②行政情報のデジタル化では、LINEなどを含め情報発信のツールを増やすことを進めてください。											

## 第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報	Y	グループ	施策名		
参加者	行政	田中達也、山本有里、富田和彦	基本施策	4-3	町民の満足度向上
	町民	岩瀬雅哉、山川律子	業務改善 推進事項		公共施設・サービスの再編

### 施策情報

行財政マネジメントにおける現状と課題	人口の流出を抑制し、地域社会を持続可能なものとするためには、町民が生活に満足することが必要であり、それが町外にも伝わることも重要。			
業務改善 推進項目	公共施設等の再編	施策・事業の見直し	住民のための体制づくり	その他
業務改善の取組の 良い点	(小中学校の統廃合) ・子どもにとっては統合されて良かったと思う。	(窓口業務の見直し) ・サービスセンターがあることが住民の安心につながっている。	(庁内組織の再編) ・男性職員の育休取得の推進を考える時代なので、グループ単位で仕事をすることは今後の人手不足にマッチしていると思う。	・係でできなければ課で、課でできなければ部でという考え方が根付いてきた。 ・グループ制の導入については、今年度からの実施なのでまだまだ結果は出ていないが、概ね順調にできていると感じる。
業務改善の取組の 問題点	(小中学校の統廃合) ・地域の祭りや活動などさびれている。 ・バス停まで送って行くことなど父兄の負担が増えたように感じる。 ・廃校した学校施設の清掃など行き届いていないことから、地域で使う時に直ぐに使用できない。	(情報発信の多様化) ・役所は本来相談業務に重点を置くべきであって、今後は紙の広報にこだわらなくてもよいのではないか。DXの推進でカバーすると良い。	(庁内組織の再編) ・導入当初なのでまだまだ結果が出るまでには時間がかかる。	

### 評価結果・グループワーク（意見交換）の意見

総合評価	合計	5	(内訳)	予算 事業	2	点	業務 改善	2	点	マネジ メント	1	点
	iii	概ね順調		(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報	乙	グループ	施策名		
参加者	行政	山本剛資、宮地利佳 山下哲矢、内田純慈	基本施策	4-4	持続可能な行財政運営
	町民	大岩徳夫、榊原英治、秦由岐穂	業務改善 推進事項		持続可能な財政基盤の構築

施策情報

行財政マネジメントにおける現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期の目的が達成している補助金が、引き続き交付されている。</li> <li>・各種手数料や使用料が長年、改定されていないため、受益者負担の適正化を図る必要がある。</li> <li>・専門部署を設置し、令和5年度ふるさと納税寄付額は491,643千円となり、昨年比約1.9倍へ増加している。ふるさと納税は寄附を集めたら終わりではなく、集めた寄附をどのように使うかが重要であり、事業者支援をすることで、魅力的なふるさと産品の創出、地域活性化及び産業振興並びに雇用の促進を図る。</li> <li>・各課から政策立案に積極的な職員を募集し、新公共経営若手政策研究チームを結成。幹部会へ政策提言を実施し、各担当へ事業引継ぎを行った。</li> </ul>				
--------------------	---	--	--	--	--

業務改善 推進項目	歳出の抑制	歳入の確保・充実	効果的・効率的な行財政運営	その他
業務改善の取組の 良い点	補助金の見直しをすることにより適正化を図ることができ、歳出を抑えることができる。	職員が地道に事業者を訪問して協力を依頼し、積極的にふるさと納税返礼品の提案をすることで、返礼品数が300程度から600程度へ約2倍となった。	政策研究チームにより自発的、積極的な政策提言が実施され、事業化に結び付けることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金カットについて担当課で判断するのは難しい。</li> <li>・ふるさと納税をもっと早く推進していたら結果も変わってきていたと思うので、次の一手を考えるべき。</li> </ul>
業務改善の取組の 問題点	補助金を廃止または削減された団体等が引き続き活動できる体制を確保する必要がある。	ふるさと納税寄付額が増加している中で、集めた寄附金をどのように使うかが重要であり、産業の活性化と雇用の促進を図る必要がある。	政策研究チームの提案を主体性・自立性のある組織づくりにいかに反映させるか？	

評価結果・グループワーク（意見交換）の意見

総合評価	合計	4	(内訳)	予算事業	2	点	業務改善	1	点	マネジメント	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要) 補助金はカットするだけではなく、時代に合わせた新規補助金は前向きに検討を行っていく。			(摘要) 南知多町でネーミングライツは難しいが、日間賀島ステッカーのようにステッカー等を作成し、購入者に南知多町を宣伝してもらう仕組みを考えてはどうか。			(摘要) 若手研究政策チームで研究させるのは良いが、幹部職員が責任をもって若手職員の意見を取り入れてもらいたい。	